

ビワの葉療法をしませんか？

村井 俊治



ビワの葉が、医療に使われるのを知っている人は少ないのですが、実は昔から分かっていたことです。我が家では、ビワの葉の効用を知っていましたので、昔から使ってきました。ビワの葉のお灸とビワの葉の湿布をします。昔空き地にビワの木があり、自由に葉を採集できたのですが、ある時空き地が宅地になってビワの木が伐採されてしまいました。そこで我が家にビワの木を植えました。ビワの木は庭に植えると不吉だという人がいましたが、これは迷信と考え、実を取ることにしました。

ビワの葉のお灸は、通信販売で「ビワの葉お灸セット」を買わなければなりませんので、ここでは、誰にでもできるビワの葉の湿布を先に紹介します。長男が大学でラグビーボールをしている頃、打ち身とねんざをして練習を中止して我が家に帰ってきたことがあります。薬屋で売っている湿布を貼っているのを見て、家内がビワの葉の湿布を進めました。半信半疑の息子を口説いて無理矢理ビワの葉の湿布をしました。翌朝、息子はびっくりするぐらい快方に向かっていました。あまりにも効いたので、同じようなトラブルの仲間を連れてきて、ビワの葉の湿布をすることになりました。前置きはこれぐらいにして、作り方を教えましょう。

ビワの葉のできるだけ古い葉を4、5枚集めます。これを丸めて、座金ですります。繊維があって少しやりにくいですが、ボロボロ状にします。小麦粉に生姜をすったものを混ぜて水で捏ねます。これにすり下ろしたビワの葉をまぜ入れて、糊のようにします。これを5ミリくらいの厚さで布に塗りつけ、患部に貼り合わせます。水がしみ出してくるので、サランラップを貼ってから、軽く手ぬぐいのような木綿でくるみます。糊状の湿布が乾くまで置いておきます。寝る前に湿布をして朝取るのが便利でしょう。

少なくとも市販の湿布よりずっと効きます。向かいの家のお爺さんは時々我が家のビワの葉をくださいと言って、持って行きます。ビワの葉の効用を知っているのです。

ビワの葉のお灸の話も少ししましょう。お灸の藻草に火を付けてお灸をするわけですが、背中などの患部にビワの葉の表が患部に当たるように敷きます。ビワの葉の上に特殊な紙（セットになっている）を敷いて上から押しつけるようにツボにお灸をします。熱くなったら「ハイ」と言ってもらい、別のツボに移動します。驚くことに、悪い箇所があるとビワの葉の表面は黒ずんでいます。悪くないところは、ビワの葉の色に変化はありません。

現代の医薬より薬効のあるビワの葉の療法をしませんか？